

第 56 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時 : 2015 年 2 月 3 日 (火) 14:00~17:00
2. 場 所 : 東京理科大学 森戸記念館 第 3 会議室
3. 出席者 (役職/氏名順、敬称略)

No.	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
3	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
5		札野 順	日本工学教育協会	出
7	委員	狼 芳明	日本機械学会	出
9		林 克己	日本技術士会	出
10		橋本 義平	日本技術士会	出
13		剣持 庸一	日本工学教育協会	出
14		宮越 直樹	日本原子力学会	出
15		玖野 峰也	日本工学アカデミー	出
17		瀧澤 照廣	電気学会	出
20		宇野 研一	安全工学会	出
25	事業担当理事 (後任)	小川 徹	日本工学会 技術倫理協議会担当	出
26	アドバイザー	長島 昭	元議長	出
29	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出

3. 議題

【第 1 部】

- ① 前回議事録(案)について (審議) (技倫資料 56-3)
- ② 2015 年度以降の体制について (審議) (資料なし)
- ③ WECC2015 について (報告) (技倫資料 56-4)
- ④ メール審議結果について (報告) (技倫資料 56-5)
- ⑤ 各学協会活動報告 (報告) (技倫資料 56-6)
- ⑥ 次回協議会の日程について
- ⑦ その他

【第 2 部】

- ・ 市川 家國氏 (CITI Japan プロジェクト副事業統括、信州大学特任教授) ご講演

4. 配布資料 :

- 技倫資料 56-1 : 第 56 回技術倫理協議会 議題表
- 技倫資料 56-2 : 第 56 回技術倫理協議会 出欠表
- 技倫資料 56-3 : 第 55 回技術倫理協議会 議事録(案)
- 技倫資料 56-4 : WECC2015 技術倫理関連講演
- 技倫資料 56-5 : メール審議結果について
- 技倫資料 56-6 : 第 56 回技術倫理協議会 会員活動報告

5. 議 事

- ① 前回議事録案の確認 (技倫資料 55-3)
 - ・ 原案通り了承。

②2015年度の体制について（資料なし）

- ・三木議長が引き続き関係者と協議し、次回の協議会で結論を出すこととする。

③WECC2015について（報告）（技倫資料 56-4）

- ・技術倫理関連の招待講演プログラムが確定した。
- ・一般投稿論文を集めて欲しいとの依頼があったので、協議会メンバーも関係者へ働きかけて欲しい。

④メール審議結果について（報告）（技倫資料 56-5）

- ・原案通り了承。

⑤会員学協会活動報告（技倫資料 55-8）

	学協会名	報告概要
1	電子情報通信学会	<p>1. 2015年1月30日に倫理委員会内に「事例集検討小委員会」を設置することが承認された。2月中に第1回委員会を開催予定。</p> <p>2. 下記要領で技術と社会・倫理（SITE）研究会を開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年3月5日（木）～6日（金） ・トピックス：インターネットと情報倫理教育 ・小名浜オーシャンホテル（福島県いわき市） <p>URL : http://www.ieice.org/~site/</p>
2	日本機械学会	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回技術倫理委員会（12/18, 慶應義塾大学三田キャンパス）開催、下記アイテムを議論 <p>1) 2015年度年次大会（技術倫理委員会企画）ワークショップ（9/14）企画「研究者倫理」（案）または「本会会員に対する倫理のいろは教育」（案）。</p> <p>2) 技術倫理委員会において本会倫理規定英文版作成中。</p> <p>3) 技術倫理委員会直属WG「機械系高等教育機関での技術倫理教育の体系化」報告書2015年3月完成予定。また、会誌2015年5月号特集号掲載予定。</p> <p>4) 機械学会技術倫理賞の新設の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回は3月10日の予定。
3	日本技術士会	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回倫理委員会（12/18）を開催し、3小委員会の活動報告。倫理研修用教材のウェブサイト掲載、第2回技術者倫理ワークショップ 実施報告、月刊「技術士」倫理シリーズ計画。 ・第7回技術者倫理シンポジウムを5/13（水）に学士会館にて開催予定。テーマは「技術者資格、工学教育、および実務における倫理を国際的視点からみる（仮題）」として、講師依頼中。
4	日本原子力学会	<p>1. H27年1月9日 第83回倫理委員会開催</p> <p>2. H27年1月8日 第16回倫理研究会を北大にて開催</p> <p>(1) 講演1： 「泊発電所の安全性向上について」 (北海道電力㈱ 原子力部原子力業務グループリーダー 小林俊広様)</p> <p>(2) 講演2： 「安全のレベルアップを目指して—事故の歴史と今後の取り組み—」</p>

		<p>(東日本旅客鉄道㈱ 鉄道事業本部安全企画部 主幹 片方喜信様)</p> <p>(3)講演 3 : 「さらなる安全を目指して ー福島事故からの教訓と海運業における安全文化ー」 (原燃輸送㈱ 社長 吉澤厚文様)</p> <p>(4)パネルディスカッション : 「現状の安全に安心しないヒト, 組織とは」 (御講演者のみなさまおよび奈良林委員 ; ファシリテータ : 大場委員長)</p> <p>3. 事例集作成</p> <p>(1) 昨年の倫理規程の大改訂を受けて、その理解を深めるための補足資料として作成中。</p> <p>(2) 今回の事例集の特徴 : 東日本大震災による原発事故については再三取り上げられるが、良好事例についての報告は少ない。失敗に学ぶことはもちろんであるが、良好事例にも学ぶ点は多数ある。そこで、東日本大震災時に原発の事故防止、事故の影響拡大防止に向けた実際の良好活動事例に基に、倫理面から考察を加え、組織における倫理教育用の教材として役立つものを目指している。</p> <p>(3) 4月発刊が目標。</p>
5	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・教育目標海外調査結果 : 19 各国/地域から 45 回答 : USA (11), Korea (8), Russia (4), Denmark (3), Sweden (3), Malaysia (2), Vietnam (2), Canada, Finland, Ireland, Netherland, Papua New Guinea, Philippines, P. R. China, Singapore, South Africa, Taiwan, Thailand, UK. (遅れて Canada から 1 件追加回答あり) 4 カテゴリーとも 3 点以上 (4 点満点) の高い評価を得た。2/19-22APPE@Costa Mesa にてポスター発表予定。回答者特性などから細かい分析や意見等の反映等を予定。 ・第 2 回国際ワークショップ「国境なき技術者倫理教育の構築」実施 12/6 金沢工業大学虎ノ門校舎。基調講演 1 名 (札幌), 海外事例紹介 5 名 (テキサス A&M 大学カタール校 Hassan Bashir, イリノイ工科大学 Michael Davis, Kelly Laas, 韓国嶺南大学校 Dongjoo Song, 高雄海洋科技大学 Wen-ling)。参加者 22 名 ・第 15 回ワークショップー測定・評価を意識した技術者倫理教育 : モデル授業を通じた効果的な授業設計ー実施 12/7 金沢工業大学虎ノ門校舎。講師 3 名 (札幌, 熊本高専小林, 関西大学片倉) グループ討議。参加者 21 名 ・2 つのワークショップの議論等を受け, モジュール型モデルシラバスの改善・教材充実, 新規開発を進める。 ・倫理綱領パブコメ募集中 1/30 締切。6 月総会承認に向け改訂作業を開始する。

		・工学教育誌 9 月号特集「安全・安心な社会を支えるための工学教育」記事募集中（4/11 締切）
6	日本マリンエンジニアリング学会	2015 年度 JIME CPD 講習会基礎コース(機関係・電気系)において、「技術者倫理」(1 コマ)を講義する予定である。

⑥次回協議会の日程について

- ・次回協議会は、3 月 30 日（月）15:00～17:00（東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室）とする。

(以上)